



にしきの つうしん
錦乃通信

Mamiya J.H.S School News

令和7年8月27日(水)

さいたま市立馬宮中学校

令和7年度 第5号

学校教育目標

未来を拓け ～自己の創造・生きる自信～

SINCE 1947

School Education Goal

Open your Future ~Self Creation ・ Confidence to live~

新学期のスタートに当たり

校長 **衛 藤 伸 介**

39日間の夏季休業期間を終えていよいよ2学期がスタートし、始業式では久しぶりに生徒一人ひとりの元気な顔を見ることができ一安心しました。生徒の成長は毎日見ているとあまり気付かないものですが、1ヶ月以上も会っていないとその変化が感じられ、改めて子どもの成長は早いものだと実感したところです。

さて、この夏季休業期間中、学校では三者面談等を実施させていただきましたが、校外でも様々な活動が行われておりました。私は、地域のお祭りや各種コンクール及び部活動の県大会等に出向き、本校の生徒たちが活躍する様子を見てきました。ありがたいことに本校ではいくつもの部が県大会へと出場したため、市内のみならず県内各地を回らせていただき、生徒を応援してまいりました。私は、学校では日頃より生徒が学習に取り組む様子を観察しているのですが、こうした大会等では普段教室で見ている生徒とはまた違った活躍の場面が見られ、それぞれの技量の高さに強く感銘を受けました。

ところで、本校の部活動では、大半の生徒が中学校に入学してから初めてその競技や楽器等と出会っています。つい最近まで小学生だった児童が、せいぜい2年間で大きく技能を向上させ、市内大会への出場も含めて、学校もしくはさいたま市の代表として力を発揮する姿は、本校への入学当初は保護者の方も想像がつかなかったかもしれません。ここまで成長した要因はいくつもあるとは思いますが、一つには日々の練習を通じて生徒一人ひとりが多大な努力を重ねてきた賜物であると考えます。また、それと同時に、御家庭や地域の方々の支えなしにはなしえなかったことも事実です。

人は何歳からでも努力し、成長することができるとは思いますが、今回の生徒の活躍を見るにつけ、やはり人生の中で伸び代の大きな時期があるものだと改めて実感しました。

「鉄は熱いうちに打て」ということわざのある通り、中学生の時期に学んだ内容は、速くそして確実に身につけ、しかも一生の財産となります。多くの3年生は部活動を引退しましたが、学問でもその他の活動においても、今この時期に努力することは大きな意味をもちます。新学期のスタートに当たり、次なる目標に向けて一人ひとりの可能性をさらに膨らませていってもらいたいと強く願っています。

最後になりますが、本校では今学期も公開授業や各行事を通じて生徒の成長した姿を御覧いただく機会を提供してまいります。引き続き本校の教育活動に御理解と御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。